

令和3年度天皇杯受賞者受賞理由概要
林産部門

高品質な紀州無垢材の持続的な一貫供給体制を築き上げた100年企業

○氏名又は名称 山長林業株式会社・株式会社山長商店（代表 榎本 長治）

○所在地 和歌山県田辺市

○出品財 経営（林業経営）

○受賞理由

・地域の概要

田辺市は、和歌山県の南部に位置し、平野が少なく海岸部からすぐ山岳地帯へと移行しており、森林面積が約9割を占めている。良質材の産出地として発展しており、現在では、市の人工林は県全体の約3割を占め、県林業の中心地となっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

江戸～大正時代にかけて木炭問屋として林業を営むとともに、明治中期より積極的にスギ・ヒノキの造林に取り組み、戦後は大規模な拡大造林を行うとともに製材業に着手した。平成に入ると、木造建築工法の変化に即してプレカット工場を新設し、良質な紀州無垢材の生産を行う従業員100名規模の経営体に成長を遂げた。森づくりから家づくりまでを一貫通貫で見据えた高品質なプレカット無垢材の生産と工務店への販売を繋ぐことで、収益の最大化による好循環な林業経営を行っている。

・受賞者の特色

(1) 集約化した広大な山林の適切な管理と木材生産、技術革新への取組

約6千haの所有山林を核として周辺の小規模な森林所有者との共同による森林経営計画の樹立を推進することで、地域の山林を集約管理している。その面積は所有山林の倍にあたる12千haを超えており、長年積み重ねてきた育林技術を用いて、通直完満な良質材を地域として生産する体制を構築している。また、早くから高性能林業機械の導入を進めており、特に代表の榎本氏は「架線集材の低コスト化・省力化技術検討会」を立ち上げ、集材の無線化や自動化にも繋がる油圧式集材機の開発に取り組むなど架線集材の発展に貢献している。

(2) 高品質紀州ブランド無垢材の生産と流通（森づくりから家づくりまでの一貫化）

無背割りの高温蒸気乾燥技術の導入によりJAS規格の柱材や横架材を生産し、厳しい自社基準を通過した寸法安定性と品質性能を持つ高品質のプレカット無垢材製品を首都圏の工務店に直接供給することで建築用材の高付加価値化に成功した。また、令和3年には小曲がり材や地域課題である虫害材を受け入れるために新工場を稼働し、地域の森林経営管理や地域材の活用拡大に大きく貢献している。

・普及性と今後の発展方向

高品質無垢材の生産と高付加価値木材製品の販売により、山元の収益向上を図る経営手法は、各地から約50組/年もの林業関係者や工務店等が視察に訪れる全国モデルとなっており、今後も技術革新や持続的な林業経営の実現に大いに期待される。